



新年度が始まる春は、新生活に向けての準備に大忙しな方、何か新しいことに挑戦しようと考えている方が多いと思います。そんな時は、いつでも図書館をご活用ください。

予定イベント

【出前講座】鴻臚館と福岡城(要申込)

3月27日(金)10:00~
コミセンわじろ 2階 第1会議室

参加費無料

工作教室(要申込)
5週目の土曜日 11:00~



5月30日・8月29日・10月31日・1月30日

コミセンわじろ 2階 和室

おはなし会
毎週土曜日 11:00~



3月 7・14・21・28日

4月 4・11・18・25日

5月 2・9・16・23日

わじろ図書館 おはなしのへや



赤ちゃんおはなし会
毎月1回木曜日 11:00~

3月12日・4月9日・5月14日

コミセンわじろ 2階 和室

本の処方箋

症状: 出会いと別れの季節を楽しみたい

==さまざまなお悩みに司書がおすすめの本をご紹介します==



処方箋1

出会いと別れに『心の手紙を届けたい』大事な人へ手紙を書いてみませんか？

処方箋2

日本の動物園では見られなくなってしまったパンダ。『読むパンダ』を開けば、その寂しさが少し紛れるかも？

処方箋3

『漢字のかんじ』の中にはそれぞれの漢字をイメージする詩がのっています。「卒」の詩を卒業する人に贈りたいです。

処方箋4

『日本「夢の旅」BEST50』で、どこからでもご自由に季節の移り変わりを愉しんでください。

※『~』は本のタイトルです。和白図書館に所蔵しています。

図書館の特別整理

図書館の特別整理は、蔵書点検とも言います。和白は、2月2日から2月11日まで休館して行いました。「棚卸」のようなものをイメージして頂くと良いかもしれません。図書館にとって、年に1度の大切な作業です。

ちなみに図書館員の間では、「曝書」という名称で通っています。曝書とは、和書を虫干しすることです。昔は、「和紙や唐紙からなる古書を広げて日光にあて風を通し、紙魚(しみ)などの害を防ぐことを目的とした年中行事」(『最新図書館用語大辞典』より)でした。その名残で、今も曝書と言ったりします。

機械で図書館のデータを
読み込んでいきます。
次の日は、筋肉痛です。





『坂の中のまち』

中島 京子 / 著 文藝春秋

2024.11 ISBN:4-16-391915-7

新生活には
不思議がいっぱい

東京の女子大に進学を決めた坂中真智は、祖母の親友の志桜里さんの家に下宿することになる。文京区小日向にあるその家の周りは坂だらけ。そしてそこは文豪とゆかりのある場所でもあった。夏目漱石、江戸川乱歩、安部公房、遠藤周作らの小説と真智の生活がつながり、不思議なことが次々起こる。

中島京子さんの飄々とした文体のせいか、坂道をのんびり散歩しているような気持ちになる。行ったこともない東京の地名なのになぜが懐かしく感じる。この春は散歩をしながら、途中で見かけた喫茶店でこの本に出てきた小説をゆっくり読んでみたいと思う。

『バッタを倒しにアフリカへ』

前野ウルド浩太郎 / 著 光文社

2017.5 ISBN:4-334-03989-9

研究って
こんなに楽しい!

バッタ被害から人類を救うため、単身アフリカ大陸にあるモーリタニアへ！この本はバッタを愛しすぎる昆虫学者が、乏しい資金とあふれる情熱を胸に繰り広げる抱腹絶倒のサバイバル科学エッセイです。過酷な砂漠でのフィールドワーク、言葉の壁、そして肝心のバッタが見つからない絶望。次々と襲いかかる試練を、著者の類まれなるユーモアと「バッタに食べられたい」という狂気的な愛情で突破していきます。夢を追うことの厳しさと尊さを教えてくれる、知的好奇心と笑いに満ちた一冊です。新書大賞受賞作。

『今すぐ読みたい！』

10代のための YA ブックガイド 150! 2』

金原 瑞人 / 監修, ひこ・田中 / 監修

ポプラ社 2017.11

ISBN:4-591-15624-7

YA

YA 棚は良書の宝庫

一番心が揺れ動き、感情が上下する時期が YA 世代。本書は、そんな中高生に寄り添う本を 27 人の選者が厳選して紹介しています。この気持ちが恋だった、「生きづらさ」を抱えて、知ることから始まるなど、テーマごとに分けられた本の紹介文を読んでいると「この本をもっとしっかり読んでみたい」という気持ちになります。まず、目次をみて、心に引っかかったテーマから本をピックアップしてみませんか？もちろん、かつて中高生だったという皆様にも面白いと思っていただけの本がたくさんあるはずですよ。

『地域の発展につくした先人大事典 全国496人を掲載!』

児童

柴田 好章 / 監修 あかね書房 2023.1

ISBN:4-251-06743-2

重いのよ、よく苦労した
496人の思いゆえ

先人とは、一般に昔の人を意味しますが、ここでは偉大な開拓や改革を成し遂げた496人が紹介されています。

都道府県別に先人、歴史、特色が紹介されており、カラー写真も豊富で、各都道府県の位置も一目瞭然です。小学校中学年以上の調べ学習に適していますが、大人にもおすすめです。見て感心するのもよいですし、関心のある場所から自由に見ても十分楽しめます。

また、地域別に歴史ヒーローが披露されており、大河ドラマ「豊臣兄弟!」に登場する人々の銅像などもありますので、予習にもどうぞ。

誰の指示も支持もなく、よりよい未来のために先陣を切った先人のおかげで、今の私たちの生活が成り立っています。様々な功績で名を馳せた先人に思いを馳せてみませんか。

館長のこころ

19 世紀のドイツ・バイエルン地方に、豪華絢爛な宮殿の建設に心血を注ぎ、最後は不審な死を遂げた王がいる。

建物の華やかさとは裏腹に心は満たされず、空疎な思いを募らせ、精神を病んでいった彼は狂王と呼ばれた。

桜の季節になると偲ばれる西行や良寛など日本の文人たち。彼らは、粗末な草庵に住み、自然を友としながら、風雅の道を究めていった。簡素な暮らしの中で、心を高雅の世界に遊ばせ、精神的な豊かさを享受した。

豪華なもので得られる高揚感は一時的で、魂の深いところまで届かないのだろう。「質素は豪華を凌駕する」という言葉を、狂王はご存じなかったか……。



福岡市和白図書館



〒811-0213

福岡市東区和白丘1丁目22-27

JR 福工大前駅内 コミセンわじろ4階

☎092-608-8490

開館時間 10:00~18:00

本の検索・予約

福岡市総合図書館ホームページ

<https://toshokan.city.fukuoka.lg.jp/>

